



「2025年3月ダイヤ改正について」団体交渉実施！～その③～

【基本関係】

⑦常磐線グリーン車におけるグリーンアテンダントの不乗区間が発生した経緯を明らかにすること。また、各統括センターにおいて、乗務員にグリーンアテンダントの乗車列車や乗車区間を周知すること。

組合：2015年6月にグリーンアテンダントの乗務区間を見直した理由を明らかにすること。

会社：業務体制の最適化を理由にサービスは維持しつつ、効率的な業務執行体制を組んだ。ご利用状況を鑑みて、品川—高萩間乗務のところ、品川—土浦間、宿泊所の都合で一部列車は勝田まで乗務している。

組合：乗務員に対して、グリーンアテンダントの乗務区間を周知すること。

会社：乗務範囲について、関係乗務員区は理解されている認識である。

組合：車内秩序の維持やトラブル対応のために、関係乗務員区にグリーンアテンダントの乗務列車や乗務区間を周知すること。

会社：委託会社と関係乗務員区で意見交換は実施している。今後委託会社に確認する。

⑧いわき駅での常磐線特急列車の車両運用について、列車遅延が回復しやすいように現行1時間折り返しを2時間折り返しに変更すること。

確認事項 いわき駅での作業を見直し、列車遅延回復に努める。

組合：2023年度のダイヤ改正より車両運用を2時間折り返しから1時間折り返しに変更したことで列車遅延が回復せず、乗務員や駅職場からお客さま対応に苦慮している意見が述べられている。改善を図ること。

会社：車両の効率的な運用により、拘束時間短縮や休憩時間拡大につながっている。列車遅延時は特発や運転整理で対応する考えである。

組合：いわき駅では車内清掃や給水作業を実施していた。列車遅延回復に向けて変更点があれば示すこと。

会社：いわき駅で実施した給水作業を取りやめ、勝田車両センター入区後に行うこととした。給水作業は15分程度であり、列車遅延回復が見込める。また異常時とすれば中2番線での折り返しを行う考えである。

組合：お客さまサービスの観点から、引き続き検討を行うこと。

会社：お客さまのご利用状況や列車体系等、引き続き効率的な体制を検討していく。また、列車遅延時は指令室と連携し、異常時手配等も考えていく。

⑨今施策に伴う異動が発生する場合、ジョブローテーションの趣旨に則り、本人希望を尊重すること。

確認事項 本人の体調や家庭の状況等、本人希望を把握する。

組合：ジョブローテーションの趣旨に則り、本人希望を尊重すること。

会社：自己申告書に伴う面談により、社員の希望を把握する。また日々のコミュニケーションで家族の状況や本人の体調等も把握する。なお、希望通りにならない場合もあるため、社員に対して異動の目的等は説明し、任用の基準で行う考えである。

組合：今施策でもワンマン運転拡大や運転士と車掌の相互運用に伴い、車掌に従事する組合員より、将来に対する不安の意見がある。車掌の将来展望を明らかにすること。

会社：特急列車の乗務や長編成について、現在は車掌業務が存在する。統括センター化で様々な担務を担い、社員の成長を促す考えである。